

平成27年度予算 市長ヒアリング資料

天王寺動物公園の魅力向上事業

平成26年12月19日

経 済 戦 略 局

建 設 局

天王寺動物公園の魅力向上事業(経済戦略局・建設局)

1 天王寺動物園のこれまでの経過



ZOO21計画に基づく整備【平成7年～平成18年】

- 平成元年 老朽化施設の計画的な建替え、自然保護・環境問題に応える展示、自然を有する身近なレクリエーションの場となることをめざしてZOO21計画作成に着手
- 平成7年 マスタープランとしてZOO21計画を策定(実際の活用は概ね施設整備計画としてのみ)
- 平成15年 アジアの熱帯雨林ゾーン(アジアゾウ)完成
- 平成18年 アフリカ・サバンナゾーン(カバ・サイ・キリン・ライオンなど)完成 (概ね施設整備計画としてのみ取り扱った)

改善・改革の取組み不足【平成19年～平成23年】

内的要因

- ・「利用者目線の徹底によるサービス向上」や「経営効率の向上」などの観点の欠如
- ・本市の「身の丈」改革をめざす市政改革基本方針による事業費の圧縮

外的要因

- ・ワシントン条約による規制強化に伴う世界的な動物入手難への対応不足
- ・少子化・レジャーの多様化への対応不足

利用者目線でのサービス改善を集中実施【平成24年～】

今後の考え方【平成27年～】

- 策定から20年が経過したZOO21計画に代る新たな計画を策定する。
- 新たな計画は、お客様視点に重点をおいたものとする。また、持続可能な運営とするため、集客力の向上、民間活力の導入、収支の改善、効率的な運営などの経営計画や飼育動物維持計画を含めたマスタープランとする。
- 策定後は計画の実現に向け、動物園に適した、より効果的な実施体制となる経営形態の検討も実施していく。

2 天王寺動物園の今後の取組み

今後の取組み

- ①改善の取組み
 - ②改革の取組み
- 利用者目線でのサービス向上など、天王寺動物園が抱える目の前の課題を早急に解決する経営計画や施設整備計画など、今後のあり方をまとめた基本計画を策定。基本計画に基づき、ハード、ソフト両面での改革を実施し、持続可能な組織・運営体制を構築する

天王寺動物園基本計画の策定

- ・天王寺動物園の使命と戦略を規定した基本構想を策定(平成26年度)
- ・基本構想を具体化した天王寺動物園基本計画を策定(平成27年度)

基本計画の
策定

①フレーム 対象・位置付け・目標

②計画(1)

全体像・動物の展示・教育環境・調査研究・種の保存・園内空間の創出・管理運営・環境保全

③計画(2)

持続可能な経営計画(経済戦略局による民間活力導入の検討を反映)・事業運営計画

連携

○動物園へ民間活力導入の検討《経済戦略局》

- ・サービス機能(飲食等)について、周辺施設とも調整しつつ、民間活力の導入可能性を検討。投資実現可能性が確認できれば、平成27年度中に民間事業者の公募・事業者決定をめざす。
- ・サービス機能以外に関する民間活力導入の可能性についても検討・調査を実施(将来的な施設整備を主に想定)

(参考)動物園への民間活力導入範囲

- ・動物の自然保護・教育・研究の機能を担う公共機関として、動物の飼育管理・展示施設などの専門的な分野は継続性、公益性を確保しながら、地方独立行政法人による経営を見据えつつ検討する。
- ・来園者へのサービス機能については、レクリエーション機能を担う都心の動物園として、効果的なアイデアやノウハウを取り入れるため、飲食・物販機能等について民間活力を導入し、サービス機能以外についても民間活力導入の可能性を検討する。
- ・また、民間を活用した運営面での資金調達や施設整備面でのコスト削減に取り組む。

(参考) 天王寺動物公園における動物園の位置づけ

天王寺動物公園

- 動物園は、天王寺動物公園の中心施設
- 公園の一体的なマネジメントのもと、民間の活力も導入しながら魅力を向上
- 博物館相当施設として専門的知見必要

専門的知見必要

動物園
有料
博物館相当施設
専門知見必要
→ 動物の飼育展示
調査研究 保全

<現在 直営
→今後 経営形態を検討>

美術館
有料
博物館施設
専門知見必要

<今後独法化>

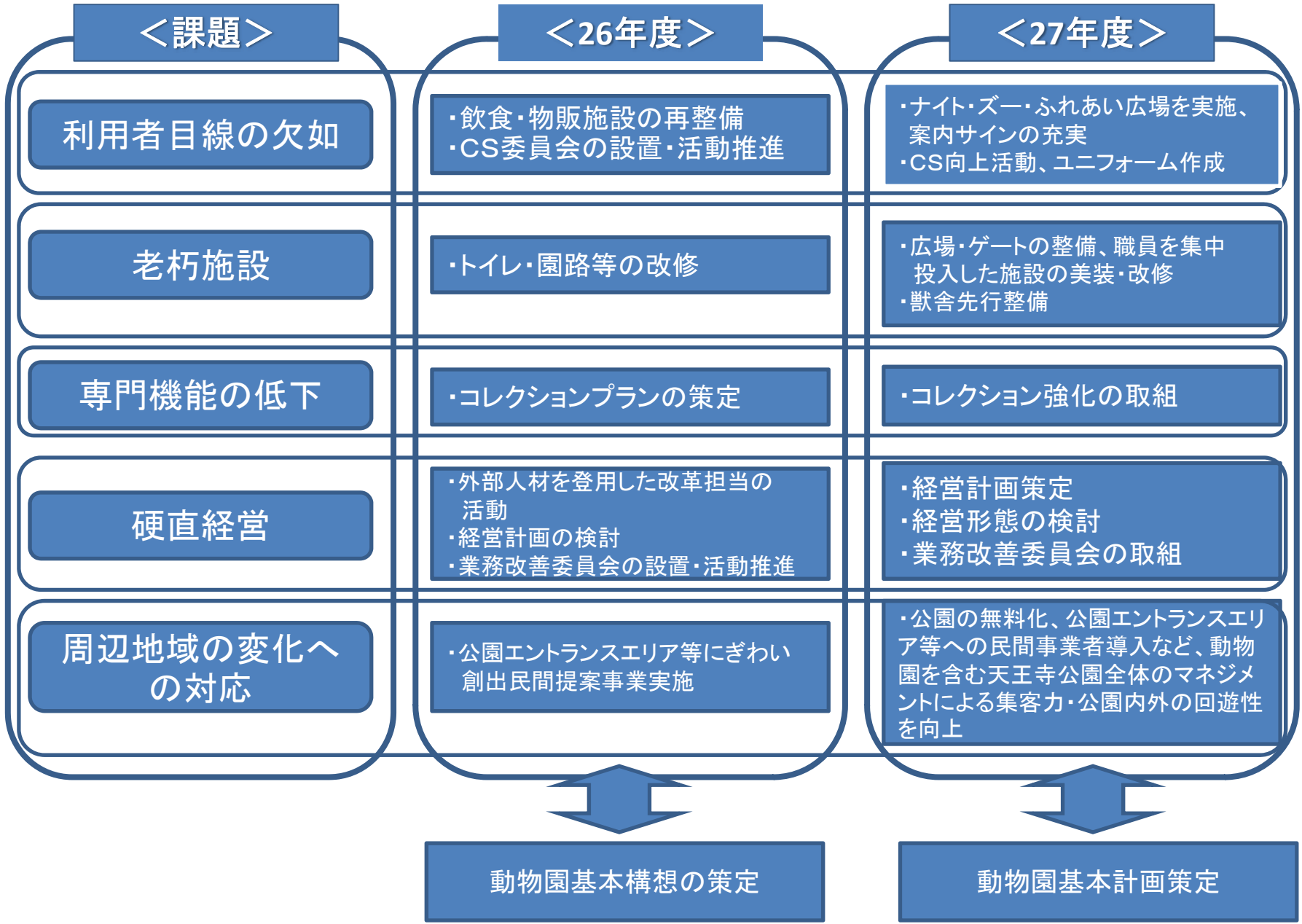
慶沢園
庭園
<今後
美術館と
一体的活用>

茶臼山
無料公園
史跡

**茶臼山北東部
エリア**
無料公園
民間事業者による
賑わい創出
<飲食・物販施設設置運営
緑地整備管理>

エントランスエリア
無料公園
民間事業者による賑わい創出
< 飲食・物販施設設置運営 イベント企画実施
緑地整備管理>

3 動物園来園者増加策の課題及び対応策

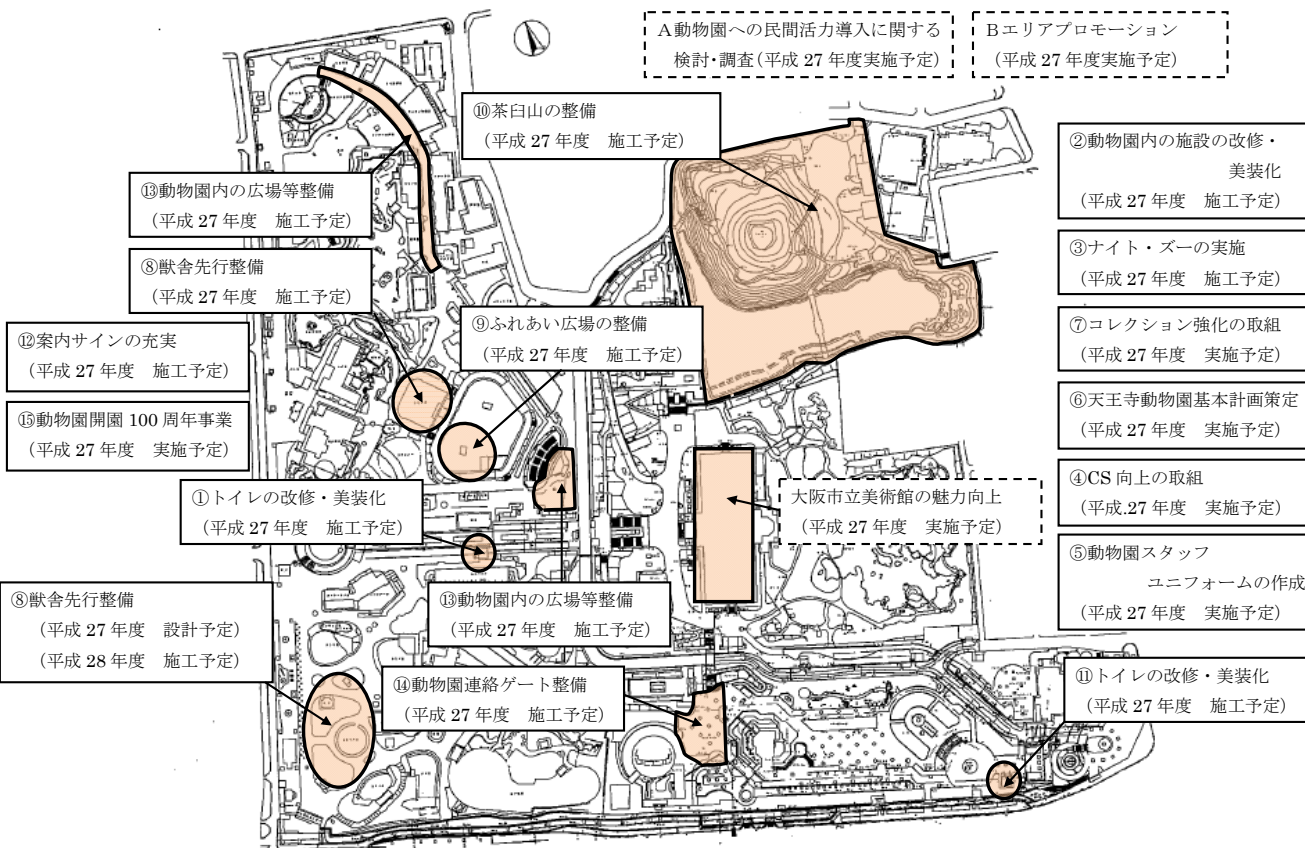


4 事業概要

平成27年度算定 731百万円【経済戦略局:事業費13百万円、一般財源13百万円】【建設局:事業費718百万円、一般財源255百万円】

平成26年度予算(当初+5月補正)446百万円【経済戦略局:事業費5百万円、一般財源5百万円】【建設局:事業費441百万円、一般財源59百万円】

天王寺動物園を大都市大阪にふさわしい魅力あふれる動物園とする徹底した改革を行い、あわせて動物園を核とした天王寺・阿倍野エリアの魅力向上を図る。



【建設局】

◆予算算定額 718百万円

【追加事業】 253百万円

<目の前の課題改善の取組>

- ①トイレの改修・美装化(動物園) 36百万円
- ②動物園内の施設の改修・美装化 33百万円
- ③ナイト・ズーの実施 50百万円
- ④CS向上の取組み 4百万円
- ⑤動物園スタッフユニフォームの作成 7百万円

<今後の改革の取組>

- ⑥天王寺動物園基本計画策定 38百万円
- ⑦コレクション強化の取組 12百万円
- ⑧獣舎先行整備 55百万円
- ⑨ふれあい広場の整備 18百万円

【継続事業】 455百万円

<100周年に向けた取組(⑩を除く)>

- ⑩茶白山の整備 150百万円
- ⑪トイレの改修・美装化(エントランスエリア) 24百万円
- ⑫案内サインの充実 80百万円
- ⑬動物園内の広場等整備 50百万円
- ⑭動物園連絡ゲート整備 140百万円
- ⑮動物園開園100周年事業 11百万円
- 事務費 10百万円

【経済戦略局】

◆天王寺動物公園の魅力向上事業 13百万円

- A 動物園への民間活力導入に関する検討・調査 6百万円
- B エリアプロモーション 7百万円

5 動物園の事業内容(追加事業詳細)

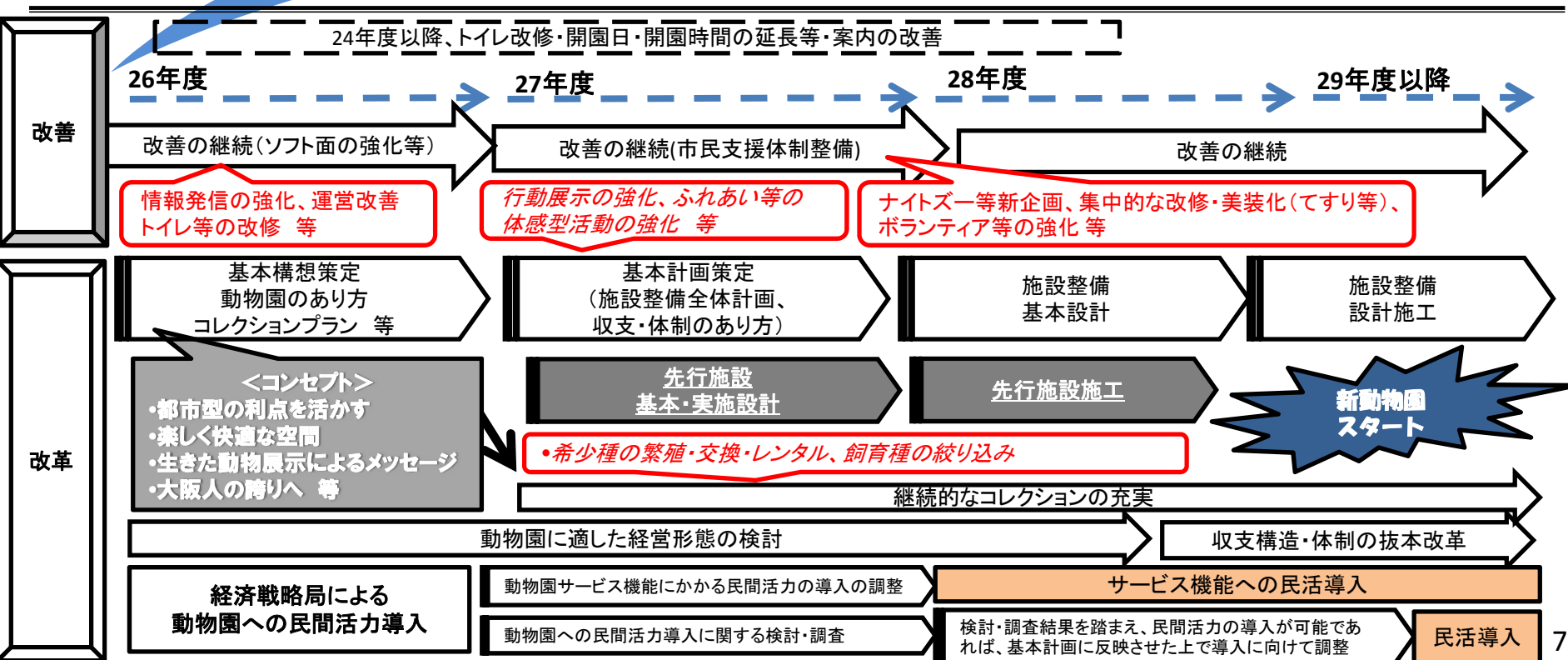
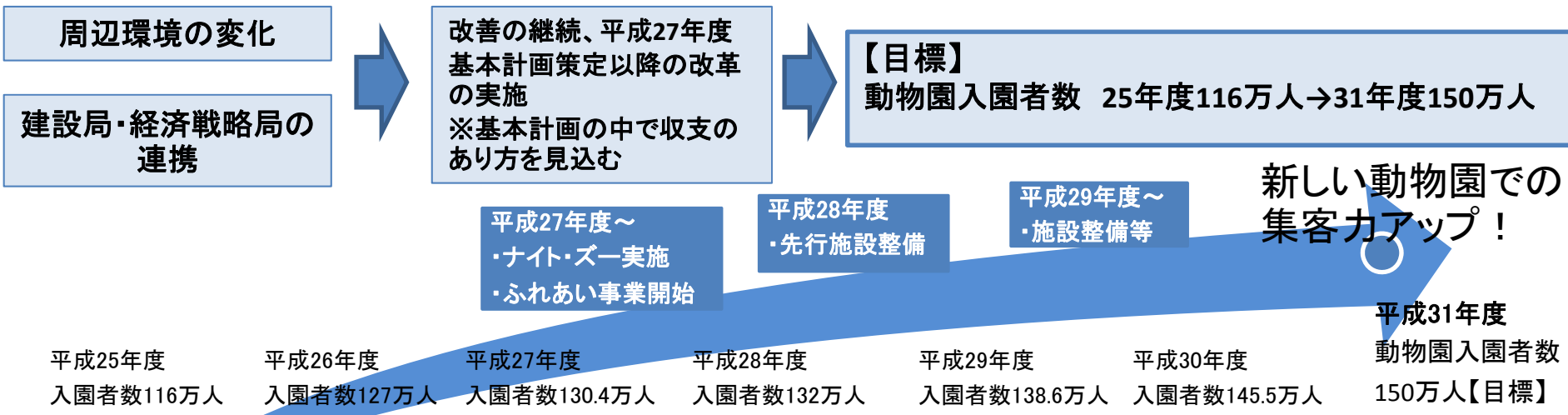
目の前の課題改善の取組み

- ①**トイレの改修・美装化** [36百万円]
平成25年度以降、順次整備を行っており、27年度も実施する。
- ②**施設の改修・美装化** [33百万円]
直営の人員を集中して投入し、施設の改修・美装化を図るため、必要な資材、原材料を購入する。
- ③**ナイト・ズーの実施** [50百万円]
集客効果を上げるため、照明設備を配置し、ナイト・ズーを夏のお盆期間を中心に秋・冬のイベント開催に合わせても実施する。
- ④**CS向上の取組み** [4百万円]
お客様の視点に立ったおもてなし精神の徹底やサービス改善を図るため、実践的な研修を実施する。
- ⑤**スタッフユニフォームの作成** [7百万円]
お客様がスタッフを見分けやすくするとともに、職員のおもてなし精神の向上を図るため作成する。

今後の改革の取組み

- ⑥**基本計画策定** [38百万円]
使命と戦略を具体化した施設ゾーニング、施設整備、デザイン、収支、投資、広報等の基本計画を策定する。
- ⑦**コレクション強化の取組み** [12百万円]
飼育動物収集計画に基づき動物を確保するため、動物の購入、動物交換プログラムの推進、希少種動物確保に向けた調査を実施する。
- ⑧**獣舎先行整備** [55百万円]
開園100周年を迎え、今後策定する基本計画のゾーニングとの整合性を図るとともに、更なる集客に繋げることを目的に人気の高い動物の獣舎先行整備を行う。
- ⑨**ふれあい広場の整備** [18百万円]
園内の空きスペースに家畜小動物のふれあい広場を設置し、新たな動物園の魅力創出を図る。

6 動物園の改善・改革の進め方・目標



7 「天王寺・阿倍野地区」の今後の方向性

大阪都市魅力創造戦略

「民が主役、行政はサポート役」との基本的な考え方のもと、世界が憧れる都市魅力を創造し、世界中から人、モノ、投資等呼びこむ。



エリアの核となる動物園についても、活性化を図るため、民間事業者の柔軟かつ優れたアイデア・企画力を活かし、民間活力導入の検討を進める。



民間活力の導入

- エントランスエリア等への民間活力の導入
(平成26年10月事業予定者決定、平成27年10月運用開始予定)
- 動物園での民間活力の導入の検討〔6百万円〕
(動物園への民間活力導入に関する検討・調査の実施:平成27年度予定)
(サービス機能(飲食等):平成27年度中の公募及び事業者決定をめざす)
- エリアプロモーション(平成27年度実施予定)〔7百万円〕